

京都に於ては党内党本部が三民主義による無条件合同反対運動
方針を改めざるに屈服の合同反対の態度を明示せ

女木松一派に於ては荒れ狂った社民を下からの統一戦線にダダタツカセ
カンの下

各聯合会は態度を声明せよ

我々各聯合会が社民大衆合同に反対するの目的は全農の強化のため大衆党
の強化を欲するが故である。今度の合同運動は如何に強固な
一幹部が
其の無理押しである。この無理押しは全農を強化するものではない。大衆党
は其自体がしっかりとおりておわり現状に於てその合同は実力上は於ける右翼の
屈服である。③党中央部の刷新充実に於て階級的統一は不可能な
ある。大衆党は討論者で先づ統一の前は大衆党を強化すべきである。
④かくして全農の勢力を前進せよ！ 各聯合会は積極的な態度を
放棄せよ！

歩調を統一して右翼合同と争へ

近畿地方協議会並に九州本部員会議用が

五月九日、近畿地方協議会、近畿地方本部員会議、西面組織問題、政党内閣問題
等を議題とする近畿地方本部員会議が、総本部に開かれ、

出席者(総本部) 杉山、吉岡、初日、前川、伊藤(京都)、田中

増田(大阪)、阿部(和歌山)、田村(兵庫)、松下(徳島)、竹治(高知)

原上、政党内閣問題について

高知、総本部は合同反対を声明し、大分遠慮が過ぎるものがある

この二つを以て争うべきである

京都、階級的の見れば、今日に於ては、合同より統一戦術の方が

あるものではない、各聯合会に於ては、合同論より統一戦術の方が

あるものではない、各聯合会に於ては、合同論より統一戦術の方が

本部、問題は、具体的に取扱ふべきである、
下野、代議